

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公開番号】特開2012-235804(P2012-235804A)

【公開日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2011-104652(P2011-104652)

【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/63 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 E

G 0 1 N 21/63 Z

G 0 1 N 33/50 Q

A 6 1 B 5/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月14日(2014.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚内部のコラーゲンの状態を評価する方法であって、

(a) 皮膚内部に超短パルス光を照射し、発生した第2高調波発生光(SHG光)を検出することにより得られたSHG光画像を用意する工程、

(b) 前記SHG光画像に基づいて、皮膚内部のコラーゲンの粗密を定量化する工程を含む方法。

【請求項2】

工程(b)が、

(b1) SHG光画像内の評価対象領域を選択する工程

(b2) 選択された評価対象領域内の輝度に基づいて、コラーゲンの粗密を定量的に示す指標を算出する工程

を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

工程(b2)が、

(b2-1) 選択された評価対象領域内の輝度を二次元フーリエ変換し、二次元空間周波数分布を求める工程、

(b2-2) 得られた輝度の二次元空間周波数分布をカーブフィッティングし、半値幅を求める工程

を含み、得られた半値幅が、コラーゲンの粗密を定量的に示す指標となる、請求項2記載の方法。

【請求項4】

工程(a)において用意されるSHG光画像が、超短パルス光としてフェムト秒モード同期レーザー光を照射して得られたSHG光画像である、請求項1～3の何れか一項に記

載の方法。

【請求項 5】

工程 (a) において用意される S H G 光画像が、皮膚の真皮層に超短パルス光を照射して得られた S H G 光画像である、請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 6】

皮膚の老化を評価する方法であって、
請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の方法を用いて、皮膚内部のコラーゲンの粗密を評価する工程、
皮膚内部のコラーゲンの粗密の評価結果に基づいて、皮膚の老化を評価する工程を含む方法。